

江田島市

# 議会だより

江田島市議会

第86号

令和8年5月1日



🔊 声メーター

広報に掲載された  
皆さんの声

第86号(令和8年5月)～

28

令和7年度実績：51件

特集

令和8年度予算審査

P 2～5

市議会アドベンチャー

P 16～19

# 令和8年度 予算 審査

対前年度比  
4億7,110万円増

総額  
**255億6,490万円**

- 一般会計 **166億8,000万円**
- 特別会計 **71億1,640万円**
- 企業会計 **17億6,850万円**

## 総務文教分科会の審議



総務文教分科会では、教育、消防、情報発信やデジタル、公共交通などに関する予算について審議しました。

人口減少が進む中で、部活動の地域移行や教育環境の維持など、持続可能な体制づくりが求められています。

また、デジタルの活用や郵便局との連携による業務効率化の実証実験が進められている中で、それが適切に運用されているか、さらに定量的に費用対効果が示されているかについても審議しました。今後、限られた予算の中で、評価方法と定量的な成果を明確にしながら各事業が効果的に運用されるかを注視し、市民サービスの向上につなげていきます。



審査報告書

審査後、予算に対する指摘や意見をまとめています！



## 産業厚生分科会の審議

令和8年度当初予算が増額した主な要因は、本市を経由して支援する民間事業者への国の交付金があるためです。それを除いた実質的な予算規模は前年度並みに推移しています。

一方で、経常収支比率の高止まりに加え、人口減対策やインフラの老朽化に伴う歳出増が今後も見込まれます。

今後、議会では、さらに厳しいチェックが必要になります。

令和8年度当初  
予算の概要はこ  
ちらから



次ページからは、江田島市が令和8年度から実施する、新しい事業に対して、議論された内容や意見を紹介します。

330万円

## 認定地域クラブ活動補助

学校単位で行われてきた部活動を地域全体で支える仕組みへ移行するため、要件を満たした地域クラブ活動に対して支援を行う。

### 議員から質問

Q どのような基準で対象クラブを選定するのか。

A 運営体制や規約等、研修の受講、学校との連携など七つのガイドラインを設けます。

Q 生徒の移動など課題への対応は。

A 地域特性もあり移動は難しいところですが、保護者の意見も聞きながら、江田島市に住んでいる生徒が機会を失うことがないように考えていきたいと思えます。

### 議会の意見

対象となる団体や活動内容、補助金の使途等について十分な整理と周知を行うこと。

事業の実績や課題を的確に検証し、生徒や保護者が安心して参加できるようにすること。

活動場所や送迎の実情など地域の課題を踏まえ、持続的な取り組みとすること。



33万円

## 情報発信事業（子育て応援大使）

本市出身で縁のある方を子育て応援大使として、子育ての様子を発信することで、結婚・出産・子育てに関するイメージの向上をはかる。

### 議員から質問

Q 具体的にどのような取り組みか。

A 結婚や子育てのイメージを形成するため、本市に縁ある方に大使に就任していただき、結婚生活や子育て生活を発信していきます。広報えたじまに記事を掲載する予定です。

### 議会の意見

若い世代向けにSNS等でも発信してはどうか。

子育てを検討している市民の安心感の醸成につながり、定住・出生につながる効果を生むことを期待する。



任命式の様子

1,600万円

### ホームページリニューアル事業

より効果的な情報発信ができるように、市ホームページのリニューアルを行う。

#### 議員から質問

Q 1600万円の予算は妥当であるか。

A 全面的な改修を見込んでおり、一般的な金額です。また、他市町は5年に1回程度改修をしています。本市は前回から10年以上経っています。

Q どのように改良されるのか。

A 情報にたどりつきやすいよう、ピクトグラム(案内マーク)やAIチャットボット(自動で返答する仕組み)の導入、またスマートフォン向けに見やすくします。

#### 議会の意見

- ・市民サービスの向上が確実にはかれるよう、検証する必要がある。
- ・オンライン申請の拡充やユーザビリティ(使いやすさ)の改善など、市民が真に利便性を実感できるように数値で示すこと。



30万円

### 移動支援サービス事業

宮ノ原隣保館が中心となり、令和7年度より買物困難地区で実施している移動支援サービス事業の対象地域の拡充を行う。

#### 議員から質問

Q 沖地区での「ふれあい運行事業」の実証事業もあり、交通インフラと捉えて、企画部と連携は取れているのか。

A 連携を取りつつ進めています。隣保館は宮ノ原以外にも各町にあるので、今後、江田島市全域で交通弱者に対応できるのではないかと考えています。

#### 議会の意見

- ・交通弱者に対する制度は、沖地区での取り組み結果と合わせて、制度の構築をすべきである。
- ・事業展開が不明瞭なので、今後の事業運営を明確にすべきではないか。
- ・利用する住民や運転手が保険に対応し、安全安心を確保した上で、買い物困難地区の支援を願う。



2,390万円

### レガシー創出事業

二高山砲台を未来へと紡ぐ歴史的遺産として整備し、観光振興等に活用する事業で、広島県の交付金を活用して実施。

砲台跡の調査設計と地域力創造アドバイザーによる周遊促進コンテンツを造成する事業。



#### 議員から質問

Q 砲台山の整備には一定の理解をするが、観光誘致をするには、登山道の状態も懸念されるがどう考えているか。

A 農林水産課とも連携を取り、道路についても整備していきます。

#### 議会の意見

- ・大和ミュージアムのリニューアルオープン、バスツアー等と連携し効果的な事業にすること。
- ・歴史的遺産について本市以外と連携して観光コースを調査・研究し、事業を促進すること。
- ・地域力創造アドバイザーには、江田島市全体を俯瞰して見出し、方向性を見出すこと。



60.8万円

### 骨粗しょう症検診事業

健康増進法に基づき、新たに骨粗しょう症検診を実施する。対象者は40・45・50・55・60・65・70歳女性で、約800人。

また、検診とは別に、市で骨密度測定装置を購入し、百歳体操など通いの場で測定し、骨粗しょう症や骨折予防を推進する。

#### 議員から質問

Q 骨密度測定装置の運用について伺う。

A 百歳体操など通いの場での活用のほか、各イベントで活用してもらうことで、検診対象外の方に対しても骨粗しょう症や骨折予防の推進につなげます。

#### 議会の意見

- ・江田島市は健康寿命が県内ワースト2位の自治体である。改善をはかること。
- ・骨密度測定装置は有効に使うこと。
- ・骨粗しょう症検診が新たに始まるが、その他各種予防プログラムにおいても参加率の向上策を再検討し、健康増進を進めること。



こんなことが決まりました！

# 2月定例会

会期 2/12～3/18

議案…… 34件  
 承認…… 1件  
 報告…… 1件  
 発議…… 3件  
 同意…… 2件

この中から三つを詳しく解説！

全ての議案名および議案の議員別賛否は、市議会ホームページでご覧いただけます。



＼ 定例会 ＼

＼ 議員別賛否 ＼

本会議のライブ中継・録画映像は、ご自宅のパソコンやスマートフォンから視聴できます。



江田島市議会 中継 検索

## 主な議案の賛否

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 一…議長職（議長は採決に加わりません）

	安西	濱崎	小栗	長原	小野藤	宮下	算本	上本	平本	美濃	角増	古居	長坂	平川	浜西	上松	
予算	令和8年度江田島市一般会計予算																
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正	江田島市市民サービスセンター設置条例及び江田島市環境審議会設置条例の一部を改正する条例案について																
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	江田島市火災予防条例の一部を改正する条例案について																
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	江田島市過疎地域持続的発展計画の策定について																
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
江田島市隣保館設置及び管理条例の一部を改正する条例案について																	
教育長の任命につき同意を求めることについて																	
市有財産の処分について																	
議会に対する行政情報の迅速かつ適切な報告及び誠実な対応を求める決議案について																	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※長坂副議長が議長の職務を代行

## Point 2

### 子ども誰でも通園制度がスタートします

議案第9号 江田島市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例案について

本制度により、子ども園に入園していない0歳6カ月から3歳未満であれば、どなたでも時間単位で預けることが可能になります。適切な遊びの場の提供と、専門スタッフによる相談支援を通じ、子育て環境の向上につなげます。

#### 制度の内容

**利用対象者** 0歳6カ月～3歳の未就園児  
**実施施設** 認定子ども園えたじま認定子ども園のうみ

**利用時間** 月～金曜日 午前8時30分～午後2時（土・日・祝日を除く。）

**利用料金** 1時間300円  
1時間150円

#### こんな質問が出ました

**Q** 職員の配置について十分に対応できるのか。

**A** こども園では「年度途中の入園」を想定した余裕のある保育士配置を行っています。特に未就園児クラスでは、途中入園が確実に発生するため、あらかじめきめ細やかな体制を整えています。



## Point 1

### 一般会計補正予算を可決しました

議案第25号 令和7年度江田島市一般会計補正予算（第6号）

主なものは、人件費や各事業費等の執行残による3億5086万5千円の減額です。

#### こんな質問が出ました

**Q** 防災情報システム再構築事業を、6100万円余り減額している内容は。

**A** システムの更新費用の増加が見込まれていましたが、これまで通りの契約ができ、市内20カ所の無線柱が流用可能な状況であったことで減額となりました。

**Q** 固定資産税が1200万円増や、たばこ税の500万円増の要因は。

**A** 固定資産税は企業が設備投資し償却資産が増加しています。たばこ税は税率改正等の上乗せしました。



## Point 3

### サンビーチおきみ・やすらぎ交流農園の売却が決定しました

議案第33号 市有財産の処分について

今後、改修工事の後にラグジュアリーホテルが令和11年3月にオープン予定です。

**売却の相手方** 江田島市大柿町飛渡瀬4249番地1

**売却価格** 1億5223万円  
株式会社大柿産業 代表取締役 中本修二

#### こんな質問が出ました

**Q** リニューアルオープン後も、市民はこれまで通りレストランや大浴場を利用できるのか。

**A** 改修工事期間中は安全や人員の都合上、一時的に閉鎖となりますが、リニューアルオープン後については、これまでと同様に継続して利用いただける施設として運営していくと伺っています。

#### こんな意見が出ました

議案を審査する上で、資料の不足や説明が不十分な点が見受けられる。今後は適切な説明に努めること。また、市にとっても大きな事業であるため、事業者と緊密な連携を取りながら進めること。



# 一般質問

QRコードを読み取ると録画映像が視聴できます。



## 一般国道487号道路改良事業（中郷工区）の目的は？

**答** 県が事業主体となり、大型車両のスムーズな通行や歩行者等の安全性を確保します



### 問 事業の目的は。

**市長** 道路幅が狭く高さにも制限があり急カーブが多いなど道路線形が悪い状況を、県の道路改良事業により、大型車両のスムーズな通行や歩行者や自転車の安全を確保するとともに、物流や観光客の利便性向上にもつながるものです。

### 問 工事の概要は。

**市長** 江田島町宮ノ原から中央2丁目の世上口交差点付近までの約1500mについて、2車線の車道と片側歩道を整備することとし、道路幅を6・9mから9・75mに拡幅する計画です。工事は、古鷹山登山口の駐車場付近を境に、宮ノ原側と中央側の2工区に分けて、まずは中央側から事業を推進していくと伺っています。

### 問 現状、この区間の車両制限があるが、

**土木建築部長** このたびの改良により、車両通行の高さ制限がなくなり、道路構

### 事業の流れ

	中央側	宮ノ原側
地域・地権者へ事業説明	令和7年9月実施済	
用地測量	令和7年度	未定
境界立会	令和8年4月～6月頃	
物件調査 用地取得・補償 埋蔵文化財調査 工事	令和8年度以降順次	
事業完了	できるだけ早く公表できるように努める。	

**市長** 宮ノ原から御殿山トンネル手前までの約300mは、既存道路を拡幅。御殿山トンネル北側に、新たなバイパス区間600mを整備し、その内、約450mはトンネルを新設します。

### 問 宮ノ原側の御殿山トンネルを有する区間の工事内容は。

**市長** 世上口交差点付近からの約240mは、山間部を掘削してバイパスを整備。中郷トンネル約60mは、片側通行として既設トンネルを掘削して拡幅。古鷹山登山口付近までの約300mは既存道路を拡幅します。

### 問 中央側の中郷トンネルを有する区間の工事内容は。

造としての建築限界である4・5mを確保します。



## 関係人口の可視化と地域活性化の実現を！

**答** 関係人口拡大と公平性に配慮し、持続可能な地域社会を目指します



### 問 自治会とまちづくり協議会のつながりはどうなっているのか？

**市長** 自治会は、地域住民が自主的に運営する身近な自治組織で、広報紙の配布やごみステーションの管理、防犯・防災、環境美化などの活動を通じて、住みよいまちづくりを目指す任意の団体であり、市内全域の31地域で設立されています。

まちづくり協議会は、自治会のほか女性会や老人クラブ、PTAなどの地域の幅広い団体が連携して、広い視点でまちづくりや課題解決に取り組む組織であり、市内全域の22地域で設立されています。

### 問 自治会には連合会という組織が設けられているが、まちづくり協議会に市の方で主導・助言などして、活性化をはかるという考えはないのか？

**市民生活部長** 自治会には、町別に四つの連合会と、その正副会長で構成される市の連合会がありますが、まちづくり協議会には、そのような組織はありません。

### 問 今後のまちづくり協議会の運営や在り方は？

**市長** 地域で活動する自治会などの団体がそれぞれの強みを生かし、連携・協力することで、地域の活性化や課題に対応することを目的としてまちづくり協議会の設立を進めています。近年は、人口減少や価値観の多様化に伴い、地縁団体加入者の減少や役員の担い手不足・固定化が生じていて、活動の維持に影響が出始めているため、将来を見据えた組織の在り方や運営方法について検討を進めていくべき時期に来ています。

### おわりに

自治会も重要だが、今後は、まちづくり協議会へも少し軸足を置き、その活用を市も考えるべき。組織を一つにして、行政とまちづくり協議会が役割をしっかりと果たすことにより、双方協力し合い、相乗効果が得られる。



### 問 関係人口の現状認識と、可視化に向けた課題は。

**市長** 関係人口については、国は「特定の地域に継続的に多様な形で関わる人」と定義しており、市としてもこれと異なる定義はしていません。

関わる目的は、故郷への愛着や友人との交流、余暇活動、まちづくりへの関心などさまざまです。このため、施策ごとに「データや成果を把握してまいります。」

例えば、東京江田島ファン倶楽部やFONRAエタジマの会員数、ふるさと納税の件数や受入額などです。こうした指標から関係人口は増加傾向と考えていますが、正確な把握には課題があります。

### 問 市観光ビジョンと地域活性化の結びつきは。

**市長** 江田島市観光振興ビジョンは、観光をきっかけに新たな雇用を生み、本市の魅力に共感するファンや担い手を増やすことを目的としています。

多様なターゲットに向けた観光プロモーションを行

### 問 移住定住施策と既存住民施策の公平性は。

**市長** 移住定住施策は、人口減少に歯止めをかけ、持続可能な地域社会を維持するための取り組みです。住宅購入費や家賃補助などにより移住のきっかけをつくっています。

一方で、新婚世帯支援や子育て、高齢者福祉など、既存住民への支援も進め、暮らしやすさの向上をはかっています。

転入される方を温かく迎へ、今お住まいの皆さまとともに、全ての皆さまが住んで良かったと実感できるまちづくりが大切だと考えています。





浜西 金満

### 避難所はスフィア基準を基に環境改善を！

答 基準を取り入れ避難所の環境改善に取り組みます



【市長】改訂中の市地域防災計画で、必要な資機材の調達や知識等の普及を位置付けます。全備蓄は膨大な費用を要しますが、良好な生活環境の確保に努めます。

【市長】本市の備蓄は、県の方針に沿って進めており、1日目は市の備蓄、2日目は県の支援、以降は国の支援や協定などで対応します。食料、飲用水、毛布、簡易トイレ等は確保してありますが、間仕切りや簡易ベッドは、保管場所や費用の課題から想定される避難者分は備蓄できておらず、災害協定の連携を強化し対応していきます。

【問】スフィア基準の優先する項目は何か。



備蓄物資  
(間仕切り、簡易トイレ)

【危機管理監】簡易トイレは基準を満たす327基を備蓄していますが、女性、高齢者に配慮した環境整備が課題で、民間との協定充実により早期の改善に努めます。

【問】間仕切りや簡易ベッドの整備の優先順位は。

【危機管理監】拠点避難所や高齢者や乳幼児など、配慮を必要とする方への優先配備を進めます。



長原 和哉

### 多文化共生社会の現状と今後の進め方について！

答 令和9年度「育成就労制度」導入に向けて交流機会を増やし共生社会の醸成をはかります



【市長】外国人市民の数は、令和8年2月1日現在で、総人口の5%超となっております。地域別ではベトナム出身が最も多く、東南アジアが中心で、地元産業を支えるための在留資格を有しています。

【市長】外国人市民の日本語学習の場であり「コミュニケーション」の場である「えたじま日本語クラブ」を市内5カ所、月2回ペースで江田島市国際交流協会が主催で実施しています。また、生活支援ということで、専門職員を3名配置し、相談に応じています。今後、育成就労支援制度の導入に伴いさらなる増加が見込まれるので、今後とも制度の充実をはかります。

【市長】外国人市民の日本語学習の場であり「コミュニケーション」の場である「えたじま日本語クラブ」を市内5カ所、月2回ペースで江田島市国際交流協会が主催で実施しています。また、生活支援ということで、専門職員を3名配置し、相談に応じています。今後、育成就労支援制度の導入に伴いさらなる増加が見込まれるので、今後とも制度の充実をはかります。

【市長】外国人市民の日本語学習の場であり「コミュニケーション」の場である「えたじま日本語クラブ」を市内5カ所、月2回ペースで江田島市国際交流協会が主催で実施しています。また、生活支援ということで、専門職員を3名配置し、相談に応じています。今後、育成就労支援制度の導入に伴いさらなる増加が見込まれるので、今後とも制度の充実をはかります。



【問】日本語教育についての取り組みについては。

【市民生活部長】関係機関と連携し、「日本語初期指導教室」の設置に向けて検討を開始しています。

【問】外国人市民の義務の履行状況は。

【市民生活部長】納付書の多言語化や、事業者や登録に来られた方には丁寧な説明をし、適正公正な賦課徴収に努めています。

【問】当初計画より大きく進んでいるが今後の方針は。

【市長】市内22地区の内、残り3地区（江田島町中央、大柿町大君、沖美町美能）について実情に合わせ進めていきます。

【問】外国人市民との間に誤解が生じないように、しっかりと行政はリードしてもらいたい。

【市長】また、施設の再編整備については、地域の核となる施設の維持補修を積極的に行い、利用率の向上をはかってもらいたい。



平本 美幸

### 持続可能な地域コミュニティの目指すべき姿は？

答 令和8年度「まちづくり共生課」を新設し検討します



【問】自治会等の組織維持に対する市の現状認識と危機的状況の受け止め方は。

【市長】自治会等地域住民が自主的に運営する任意の地域コミュニティ団体は、加入者の減少や役員負担の増加、固定化などの課題に直面しています。現時点では解散といった危機的状況には至っていません。活動の維持に影響が出始めているため将来を見据えた組織の在り方や運営方法について検討を進めていく時期に来ていると受け止めています。

【問】事務的負担軽減に向けた事務的支援の状況は。

【市民生活部長】市の財源やマンパワーに限りがありますが、地域支援課および市民センターの担当職員により、総会資料等の印刷や、転入者への自治会加入促進、自治会情報のPRなどのサポートをしています。

【問】令和7年10月実施の職員を対象にした地域活動への関わりを把握するためのアンケート調査の回答率が約25%であるが、有効性は。

【問】道路の整備状況の現状と課題は。

【市長】市道9路線を改築中です。国や県からの補助事業を活用した財源確保に努め、メンテナンスの効率化やインフラの集約・再編等を進め維持管理費の縮減に取り組んでいます。

【土木建築部長】中町小学校裏の市道の改良工事は空き家の除去後に道路整備を再開します。

【問】「通学路交通安全プログラム対策事業」の整備状況は。

【教育部長】PTAや学校関係者、警察や県・市と連携し、安全対策に取り組んでいます。

【問】市民参画型の維持管理活動(アダプト活動等)への支援は。

【土木建築部長】アダプト活動は40団体、約1200人が道路と河川で実施しています。海岸は対象外ですが、カヌークラブ等3団体が実

【問】高齢者への交通割引等の支援と航路の利便性の高いダイヤ編成を。

【市長】航路事業者や路線バス、オレンジ号も赤字運営であり、令和8年度当初予算に約2億円を計上しており、割引制度は困難であると考えます。

【企画部長】変更ダイヤ案を作成し調整しており、今後事業者と粘り強く協議します。

【問】沖たすけあい交通や宮ノ原地区移動支援サービスの今後の展望は。

【市民生活部長】沖・宮ノ原両地区とも利用者やドライバーから高い評価を得ており、他地域へも拡大展開を検討します。

【問】市民と行政が課題に対し協力し合って、持続可能な協働のまちづくりの推進を強く願う。



「通学路注意」の路面標示

【市民生活部長】回答率は低いものの、回答の範囲では、多くの職員が自治会に加入し、行事や清掃活動など、一定程度関わっていることが明らかになりました。今後は年に1回定期的に実施し、職員の地域活動への意識向上にもつなげていきたいと考えています。

【問】今後、自治会等の自治組織が目指すべき姿について、市としてどのように考えているのか。

【市長】自治会等の自治組織は地域住民が自主的に運営する任意の団体であり、将来の姿は、構成される皆さまが望ましい姿を主体的に選択されるものだと考えています。令和8年度、市民生活部内に「まちづくり共生課」を新設し、先進事例を参考としつつ、地域の皆さまと一緒に考えていきます。





安西 翔平

### 合理的な校則となっているか。また見直しの取り組みは！

**答** 社会通念や時代の変化に照らして合理性を欠く校則はなく各学校が主体的に校則の見直しの取り組みを進めています



**問** 子どものたちが主体的に意見を交わした結果が反映されているか。

**教育部長** 頭髪のルールに教育的意義があるとは考えていません。重要なのは、児童生徒が自分たちの学校で決められている校則を守ることを通して、社会の規範やルールを守る態度を身に付けていくことだと考えます。



**問** 校則ではポニーテール等の髪型も認められていない。その教育的な意義は。

**教育長** 各学校が学習環境および生活秩序を維持するために必要と判断したものであり、社会通念や時代の変化に照らして著しく合理性を欠く校則はないと認識しております。各学校が主体的に校則の見直しの取り組みを進めております。

**問** 社会通念および時代の変化に照らした合理的な校則か。

**教育部長** 児童生徒が主体的に意見を交わし、民主的に校則の見直しに取り組んでいます。

**問** ことどもたちが主体的に意見を交わした結果が反映されているか。

**産業部長** 令和6年度の実績が想定を超える増額となったため、見直しが必要と考えています。

**問** 消費額の現状と目標は。

**市長** 江田島市および観光協会、観光関連事業者がそれぞれの役割を担い、連携することが重要であると考えています。成果指標は観光消費額を設定しています。

**問** 観光分野の質問  
観光誘客を推進する上での体制と成果指標は。



濱崎 眞琴

### 充実した次世代型公園の整備を！

**答** 集約・再編でコスト削減をはかり、見直しで次世代型を目指します



**市長** 「江田島市公園等管理活用計画」に基づき、地区公園の集約・再編を進めています。平成30年の計画策定時、再編対象は49カ所でした。豪雨災害の影響で一時中断しましたが、これまでに6カ所を廃止・集約し、現在は43カ所となっています。今後も地域の理解を得ながら、維持管理の負担軽減に取り組めます。

**問** 基幹公園である総合運動公園の今後の展望は。

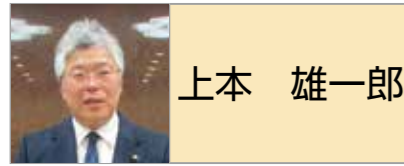
**市長** 市内5カ所の基幹公園を交流拠点として整備する方針です。ただ、整備には多額の費用が必要で、現時点では具体的な整備計画は決まっています。今後は人口減少や高齢化利用状況などを踏まえ、市民の意見を聞きながら整備の方向性を検討します。



※左右のイラストはイメージ図です

**問** 公園計画の見直しは。

**土木建築部長** 現在の計画は令和9年度までです。人口減少や少子高齢化、近年の猛暑などの気候変動を踏まえ、公園の在り方を見直す必要があると考えています。屋内施設の活用など新しい発想も含め、持続可能な公園の在り方を検討します。



上本 雄一郎

### 「2050年ゼロカーボンシティ宣言」の実行を！

**答** これまでの成果等を踏まえて慎重に検討します



**問** 市策定の計画に基づき、電気自動車等エコカーの導入を進めるべきでは。

**総務部長** 電気自動車は、平成31年2月にさとうみ科学校館へ導入して以降、実績はありません。

**問** 市策定の計画に基づき、電気自動車等エコカーの導入を進めるべきでは。

**市長** 全国的に2050年に二酸化炭素の実質排出量をゼロにする取り組みを表明する自治体が増え、県内では県と12市町が表明しています。本市では、これまでのハード・ソフト両面での取り組みの成果等を踏まえ、慎重に検討します。

**問** 県の次期計画を踏まえ、「第2次江田島市環境基本計画」の見直しを行い、「2050年ゼロカーボンシティ宣言」をしては。



美濃 英俊

### 住環境を守るため、農地継承の対策を！

**答** 少しでも多くの農地が有効活用されるように努めます



**市長** 江田島市版農地バンクは、小規模な農地を対象として、条件の良いものを登録し、農地の出し手と受け手のマッチングをはかる制度です。この制度に登録した農地

**問** 農地のマッチングの取り組みの一つ、本市での農地バンクの状況は。

**市長** 一つ目は、新規就農研修の取り組みで、キュウリや花卉を研修した修了生に農地を斡旋することで、約2ヘクタールの農地が営農されています。二つ目は、企業参入の取り組みで、農業法人を誘致し、レモン団地の造成を行っています。これにより約8・5ヘクタールの農地の遊休化を防ぐことができます。

**問** 農業従事者の高齢化に伴い、耕作放棄地の増加が想像される。地域の環境保全や獣害対策の観点から見ても対策が必要と考える。現在の耕作放棄地対策は。



「環境未来島」を目指して公用車の省エネ化推進を！

**問** 物足りない面もあるが、大きな一歩かと思う。さらに良い活動にするために、JAとの連携や、産直市場の方々との連携について考えはないか？

**産業部長** 農地のマッチングには、条件整理も重要ですが、農業に対する考え方や、農地を大切に使用してくれるかなど、信頼性といった目に見えないものも大きく影響します。連携方法等も慎重に検討し、少しでも多くの農地が有効に活用されるように努めます。

**問** 市長の言われる「市民の暮らしてに密着した部分」に財源を充当するため、市民ぐるみでごみの減量化を進めなければならない。京都府亀岡市では、令和5年4月からの分別区分の拡大に伴い、「燃やすごみ袋」を「燃やすしかなごみ袋」に、「埋立てごみ袋」を「埋立てるしかなごみ袋」に名称変更し、ごみ削減につなげている。本市も調査研究を進めては。



オリーブ園

# 産業厚生 常任委員会

各種産業や、道路や建物、下水道、他にも税金やごみ問題など市民生活に係る事業や、子育てや介護など福祉に関する事務事業を担当します。

- ・ 新たなごみ処理施設建設の見通しは？
- ・ カキ養殖の現在の状況は？



# 総務文教 常任委員会

市役所の運営や、お金の管理、公共交通、防災・消防、教育、選挙や監査などに関する事務事業を担当します。

少子化の進む中、適正な学校規模について調査していきます



## 学校規模適正化検討委員会について

2月16日に開催された総務文教常任委員会では、所管事務調査として「学校規模適正化検討委員会について」教育委員会から説明を受け調査を行いました。

### ● 教育委員会からの報告

・ 少子化による児童生徒数減に対し、小・中学校の適正規模適正配置のため検討委員会を設置し検討中。

委員18名（学識経験者、保護者、学校関係者、自治会組織）  
昨年7月から4回開催（全7回予定）

### ● 先進地視察

竹原市立吉名学園（義務教育学校）視察。

（コミュニティスクールを核として設立し、小中一貫教育や地域の教育力を生かした教育の推進）

・ 保護者説明会・アンケート実施  
12月に市内5地区で説明会（各

地区2（11名）を開催。  
市内全保護者（1037人）にアンケートを実施。  
回答者484人（46%）

・ 教育委員会ホームページに委員会の議事録やアンケート掲載

### ● 委員会の主な意見

- ・ 説明会の参加者やアンケート回答率の46%は少なく感じる。
- ・ 学校統合等となると説明会を丁寧に行い理解を得られるような取り組みを進めてほしい。
- ・ 保護者や地域の方の意見も多様であり大変だと思うが、何よりも子どもの将来に向けてどんな学びが大切か委員会の答申を受け素案を作成してほしい。
- ・ 第2次答申も参考にし、スピード感をもって答申の作成を進めてほしい。



## 呉市のごみ処理施設のリニューアルと、市の負担について

可燃ごみの処理を委託している呉市で、新しい施設づくりが進んでいます。本市にとっても非常に大きなプロジェクトであるため、今後の見通しについて報告を受けました。

### ● 市民生活部からの報告

- ・ 設計・建設工事期間：令和7年9月から12年3月まで
- ・ 事業費：343億円
- ・ 本市の負担割合：事業総額のうち、運営業務委託料以外の設計・建設工事費の約11%を本市が負担します。
- ・ 負担額の見通し：令和11年度までの支払総額は約22億7600万円。一年ごとに費用を支払う仕組みとなっており、11年度には約12億円と、完成間際に負担が集中する見込みです。

### ● 委員会での主な意見

本市の負担額は、これまでのごみの搬入量に連動している。市民と一丸となって「ごみを出さない仕組みづくり」を加速させ、持続可能な財政運営に向けた対策を講じる必要がある。



## 養殖カキのへい死問題について

深刻な被害が続く養殖カキの現状と、現在実施している具体的な支援策について報告を受けました。身入りの改善も見られるものの、多角的な支援が急がれています。

### ● 産業部からの報告

現在の出荷は将来分を前倒しして個数を確保していますが、へい死や身入りの悪さにより総出荷量は減少しています。これに対し、市は以下の支援を実施中です。

- ・ 資金繰り：融資に必要な「被災証明」等を発行。被害総額は約3億円（33件認定）。
- ・ コスト補填：漁業共済掛金へ約2100万円を助成し、県の再生事業も活用。
- ・ 環境対策：市内七つの下水処理施設で、放流水に含まれるチッ素やリンなどの濃度を調節します。

### ● 委員会での主な意見

今後とも国や県、漁協、そしてカキ養殖事業者と密に連携を取りながら、長期的な視点を持ってこの難局を乗り越えるための継続的な取り組みを求める。



## SNSでも発信します 江田島市議会【公式】

Instagram

Facebook

- ・ QRコードを読み込んでご覧ください。
- ・ お気軽にシェア、フォロー、いいね お願いします。



## 議長日誌

議長の公務内容の一部をお知らせします。

その他は右記QRコードから→



2/1

### 東京江田島ファン倶楽部総会



江田島市を愛する皆さんの思いに触れ、この会の魅力を改めて感じました。

4/4

### 海上自衛隊第77期一般幹部候補生課程入校式および第9期医科歯科看護科幹部候補生課程始業式



未来の防衛を担う方々の真剣な姿に胸が熱くなりました。

# 市議会アドベンチャー



市内の小学6年生（開催当時）が、社会科授業の一環として市議会の仕組みや役割について学びました。令和7年度は、1月・2月に議場で議会クイズを行った後、各校で未来の江田島市のために自分たちができることを考え、実行したことについて市に提案する意見発表を行いました。



児童の皆さんの提案内容は  
こちらからご覧になれます。

## 三高小学校

～江田島に住みたいと思うためには～



### 質問者

みぞぐち 凛音さん  
みやもと 芽彩さん

「私たちは、しらす、オリーブ、野菜や海の魅力を学び、港マルシェに参加して江田島のPRをしました。」

「市役所の皆さん、もっと江田島をPRしてください。」



私は、市議会アドベンチャーに参加して印象に残ったことが二つあります。一つ目は、市議会クイズで市議会の働きについて学んだことです。全部で6問出題されました。私は5問正解することができました。市議会議員は、選挙で選ばれ、現在は16名いることや、市の予算等を話し合っていることを知ることができました。二つ目は、私たちの質問に丁寧に答えてくださったことです。三高小学校は、市の人口が少なくなっているため、増やすための取り組みを質問し、農林水産課の課長さんが答弁してくださいました。このように議会では、江田島市をより良くするために、真剣に話し合っておられると感じました。私は、市議会アドベンチャーに参加する前より、市議会の大切さが分かりました。だから私は、18歳になったら必ず選挙に行こうと思いました。



こまつ かな 加奈さん

## 鹿川小学校

～江田島市全校で無人島体験できないか～



ごとう つむぎさん

「私たちがSUP、カヌー、無人島体験やビーチクリーンを体験して感じた江田島の魅力。広島に来ている旅行者が知っているのか調査しました。旅行者は、ほとんど知らなかったです。」

「立候補して発表者になったけど、緊張しました。無人島体験を実行してほしいです。」

私は、江田島市議会アドベンチャーを通して学んだことが二つあります。一つ目は市議会についてです。市議会アドベンチャーに行く前は、私は市議会についてほとんど知りませんでした。しかし、今回の市議会アドベンチャーを通して、市議会では主に市の予算を決めたり、条例の制定をしたりしていることが分かり、市議会に関心を持ちました。これからは、議会だよりなどを読んで、市ではどんなことをしているのかも知っていききたいです。二つ目は他校の取り組みについてです。これまで鹿川小学校の活動しか知らなかったのですが、意見発表で三高小学校が班に分かれてテーマに沿って活動していることや、市外に出て江田島市について発信していることなどを知り、私も「やってみたい」と思いました。この貴重な学びを生かして江田島市を盛り上げることができるよう、これから出会う人に江田島市の魅力を伝えるなど、私もできる範囲で活動していきたいと思えます。

### 質問者

なんぼ りくと 睦人さん  
ふくしま れん 蓮さん



## 江田島小学校

～外国の方に向け、江田島市のPR動画を！～  
～外国の方と交流ができる場を増やすこと～



ひらの めぐる 芽来さん

今回の市議会アドベンチャーで、議員の方がいつもどんな気持ちでいるのかも、よく分かりました。自分たちの考えを取り入れてみたいと言ってくれたのが、うれしかったです。

江田島市議会アドベンチャーに参加して、市議会のことについてよく知ることができました。江田島市が決めるルールは「条例」ということ、議員に立候補できるのは江田島市民だけで、市長は市民以外でもできることなどを知ることができました。切串小学校の発表は、観光客や市民のために路線バスをつくる、という意見でした。発表を聞いて、観光客や市民のために何がしたいのか、という思いがよく伝わってきました。江田島小学校の代表の人が発表した後、市役所の方が「お話をしてくれました。自分たちの考えを取り入れてみたいと言ってくれたのが、うれしかったです。」

### 質問者

かわべ あいな 愛奈さん  
うえむら さいか 彩楓さん



「私たちは江田島の食材と食文化をコラボレーションさせた商品の開発や、外国の方にインタビューしながらパンフレットを配って外国の方と関わってきました。そこで考えた提案です。」

「他に発表したい人がいないし、少し発表してみたいと思ったので発表を担当しました。しっかり発表できて良かったです。」

# 中田小学校

～平和な江田島、平和な日本が続いていくように！～  
～戦争当時の市民の様子や思いを後世に発信を～

「平和学習の中で、核兵器の恐ろしさや、今でも世界では戦争が続いている中で、家族と幸せに暮らしていることは当たり前ではないということを感じました。戦争当時の江田島の様子や市民の体験などを、もっと私たちの世代にも届くように発信してほしいです。」

「友達と遊んだりする中で、意見が合わずけんかしてしまうこともあります。お互い話し合いを通じて解決していき、平和への一歩を続けていきたいと思っています。」



つがわ しん 津川 心さん

私は市議会アドベンチャーに行った。議場に入ると、事前学習で見た動画とは違い、重々しい空気が漂っていた。その空気に圧倒され、私は緊張してしまった。また、そのような中で発表する人を見て、私は感心した。発表者を見てみると、どんどん私の緊張はほぐれていった。すぐさまペンを持ちメモを取った。それぞれの学校ごとの考えがあり、どのような内容なのかと考え、耳を傾けメモを取るのが楽しかった。

私は市議会アドベンチャーを通して、いろいろなことを考えた。それは、「江田島の自然環境をもっと豊かにしていくにはどうすればよいか」「江田島の人口増加に向けて何をすればよいか」「このような小さなことを考えることが未来につながっていくのではないか」また、「このような課題を考え続けることで少しでも良い江田島をつくれるのではないか」ということだ。

何事も勇気を出して伝える。その一つ一つの行動で未来を明るくしていけたらと思う。

## 質問者

ひあて ののみ 日當 このみさん  
たけうち りほ 竹内 梨帆さん



「自分たちの地域について、知らないことが多いことに気が付き、昔と今を比べると人口がすごいスピードで減っていて恐ろしい気持ちになりました。そこで大柿地区もりあげ隊を立ち上げ、活動したことを発表しました。」

「議場での発表は緊張しました。でもクラス全員で活動してきたことを発表できてよかったです。」

## 質問者

みやした ひとみ 宮下 日登美さん  
はまさき りんと 濱先 凛土さん



## 質問者

おき ゆうた 沖 祐大さん  
じょうぐち そうた 上口 蒼太さん  
じょうぐち えいた 上口 瑛太さん



「広島市に一番近い港は切串です。観光客がもっと来て江田島の魅力を伝えるために、切串発の路線バスをつくることを提案します。そして切串に住む人たちがより生活しやすくなると考えました。」

「みんなで考えたスライドを利用して発表しました。緊張したけど、発表は楽しかったです。」

# 切串小学校

～切串発の路線バスを！～



たかはし はる 高橋 晏さん

市議会で政治の仕組みを実際に見て、より詳しく知ることができました。社会科で学んだ今の日本の政治や今の仕組みができる前の昔の政治と比べて理解でき、良い体験ができました。

今回、自分たちが考えた取り組みを市議会で提案させていただき、政治に参加できたようでうれしかったです。自分たちの提案に対して市役所の方が一生懸命考えて答えてくださった。議員さんがコメントをしてくださったり、みんなが江田島を住みやすい島にしようと一生懸命協力しているのだと実感しました。

市議会に行ってみたことで、「自分たちが社会の主役なんだな」と改めて思いました。そのために市議会がとても大切な仕組みなのだと思いました。これから先、大人になったらみんなで協力して、より良い暮らしを自分たちがつくっていきたいと思います。そのためにまずは、私も選挙に行つて市民の代表の人を選び、政治に参加していきたいです。

# 大古小学校

～地域を盛り上げる！大柿地区もりあげ隊！～



ほそかわ りっか 細川 六花さん

市議会アドベンチャーに参加しました。クイズを通して、市の決まりである「条例」や、議員の人数が16人であることなどを学びました。特に、議員になれるのが25歳以上からということを知り、想像していたより若くて驚きました。

また、私たちの学校の「大柿地区を盛り上げたい」という活動について聞いてもらいました。市役所の方が、人口減少をマイナスに捉えず「一人一人が輝くチャンス」とプラスに考えていることを知り、私はとても前向きです。地域を守りたいという大人の熱い気持ちを知れたことや、私たちの動画作りを「時代に合った発想だ」と褒めてもらえたことが嬉しかったです。

この体験を通して政治への関心が高まりました。これからは自分たちができることで地域を盛り上げながら、市の政治にも目を向けていきたいです。



# 密着レポート

## 江田島バス株式会社

日頃から市民の方から「江田島バスのおかげで助かっている」という声を聞いています。

これからも江田島バスについて理解を深めていただき、もっと愛され、活用される交通機関に成長していかれるように、市民目線での質問をさせていただきました。



### インタビュー対象者



左：成田 健一 代表取締役  
右：古田 浩治 運行課長

## 江田島バスQ & A

### Q：現場の「こだわり」と「やりがい」は？

狭い道での離合や船舶との時間管理を徹底しています。

見通しの悪いバス停では、お客様を見逃さないよう細心の注意を払っています。

お客様からの「ありがとう」の一言が、スタッフの何よりのモチベーションとなっています。



### Q：ドライバーの状況は？

現在ドライバーが不足している状況です。平均年齢も60歳と高齢であり、新たな雇用に苦心しています。

そのため、二種免許取得などの課題はありますが、自衛隊退官者や高校の新卒など、新しい力の確保も検討しています。

### Q：市民の方に知っていただきたいことは？

ノンステップバスが約80%となっていて、高齢者の方も乗りやすくなっています。

ICOCA機器も導入していますので、現金を用意する煩わしさも無くなっています。

操作が不安な方への周知も行ってありますので、ぜひご利用いただきたいです。



### Q：おすすめの絶景スポットは？



沖美町から見る夕日や、長瀬海岸のクリスタルロードです。

## インタビューを終えて

インタビューを通して、船舶の発着時刻との緊密な連携や、昼間の運行数の確保など、江田島市と連携して検討していく必要性を改めて感じました。

体制が整えば、三高山砲台跡地や石風呂峠からの眺望を生かした「臨時観光バス」の運行など、島の活性化につながる利活用の話も出ました。

また、学生にバスを利用してもらうことで、保護者の送迎時間を減らし、「自分のゆとり時間」として有効活用してほしいと、お二人が優しい笑顔で語られていたのが印象的でした。

これからも、島の暮らしの基盤を維持する市民の足として、安全・安心な公共交通機関であり続けていただきたいと思います。

### 送迎の時間を自分の時間に



次回の定例会は  
**6月16日(火) 午前10時開会予定**

※日程は変更となる場合があります。  
詳細は、定例会が開催されるおおよそ1週間前に  
江田島市議会ホームページに掲載します。



**議会傍聴メーター**  
令和8年3月までの累計 ▶▶▶ **885**  
令和8年中に議会・委員会の傍聴に来られた方をカウントします。  
令和7年累計：145人

議会広報特別委員会			
委員長	美濃 英俊	副委員長	筧本 語
委員	宮下 成美	委員	小野藤 訓
委員	濱崎 眞琴	委員	安西 翔平